

2年目 新商品開発プログラム

2022年6月～2023年3月

2年目のプログラムでは、SOMEAの認知を広げ、新規顧客を獲得するため、SOMEAの新商品開発をワークショップ形式で行いました。

プログラムの主な内容

- ・新商品のアイデア出し
- ・プロトタイプ製作
- ・ペルソナ設定
- ・商品アンケートの実施
- ・新商品のポストカード製作
- ・展示会の開催



京友禅

池内友禅

池内 真広 様

2021年2～3月

上記期間に合計3回のワークショップを開催



「京もの担い手育成事業」

主催 | 京都市産業観光局クリエイティブ産業振興室
京の伝統産業春秋会・わかば会連携活性化事業協議会

企画・運営 | ようび

コーディネーター | 大島 正幸 (ようび 代表取締役)



池内友禅

事業内容

手描友禅染の技術を用いた、
着物や帯、小物の制作

池内 真広 様 プロフィール

1981 年京都生まれ。同志社大学在学中、友禅作家であった父親の作品に感動し、家業である手描友禅染めの道に入ることを決める。在学中より、型絵染作家 澁谷和子氏からデザインを学ぶ。

2004 年大学卒業と同時に父親に師事し、手描友禅染めの技法を学ぶ。

伝統的なきもの作りに加え、2018 年には友禅の技法を活かした染めと革のブランド「SOMEA(ソメア)」を立ち上げ、過去と未来を繋ぐ新しい価値の創造にも積極的に挑戦している。



プログラムの流れ

day1

● リテラシー教育

現代社会で必要とされる
リテラシーに関する講義

講義

仕事と社会の変化について

講義

マーケティングについて



● 現状分析

ワーク

事業の現状ヒアリング

設定された課題 |

池内友禅の魅力を伝えるための認知ツールである、
小物製品ブランド「SOMEA」の認知拡大



day2, 3

● リテラシー教育

現代社会で必要とされる
リテラシーに関する講義

講義

ビジネス視点での金融教育



● 課題解決のための アクションプラン案 の作成

ワーク

SOMEA のペルソナと
カスタマージャーニーマップの作成

ワーク

商品アンケートの項目作成

ワーク

広報人材のペルソナ作成と募集媒体の検討

※ペルソナとは：サービス・商品の典型的なユーザー像のこと

※カスタマージャーニーマップとは：お客様が商品を知り購入するまでの行動プロセスを、行動パターンや思考、感情などの項目で分析するためのフレームワーク





課題を分析

ワーク

事業の現状ヒアリング

池内友禪が抱える課題を分析するために、インターン生は工房を見学し、事業の現状について池内様にヒアリングを行いました。

<インターン生から出た質問項目>

- 池内様が考える、自社の強みと弱み
- 組織体制
- 今後、販売に力を入れていきたい商品
- 「SOMEA」のブランドを立ち上げた理由
- 商品の色や柄の決め方 等



プログラムで設定された課題

池内友禪の魅力を伝えるための認知ツールである、小物製品ブランド「SOMEA」の認知拡大



アクションプランの提案

ワーク①

SOMEA のペルソナとカスタマージャーニーマップの作成

SOMEA の認知を広げ、新規顧客を獲得するために、SOMEA の小物製品をテーマに、チームに分かれてペルソナとカスタマージャーニーマップを作成しました。

※ペルソナとは：サービス・商品の典型的なユーザー像のこと

※カスタマージャーニーマップとは：お客様が商品を知り購入するまでの行動プロセスを、行動パターンや思考、感情などの項目で分析するためのフレームワーク

カスタマージャーニーマップ

ワークシートの例

※イメージ

	情報収集	情報収集	訪問	認知	購入
行動	ネットリサーチ 	伝統産業ミュージアムの展示会を見つける	展示会に行ってみる	SOMEAに出会う 	帰宅後、オンラインショップをチェック →購入
思考	友人へ工芸品をプレゼントしたい	行ってみようかな	実際にどんなものがあるかな	いままでの工芸品の雰囲気とちがう！	色んな種類がある！

認知までの行動を
考えてみよう

カスタマージャーニーマップをつくれるか最初は不安でしたが、実際にチームで意見を出し合うことによって、できるものだと思えました。



カスタマージャーニーで投資すべきポイントがわかる！
展示会への積極的な参加が大事

ワーク②

商品アンケートの項目作成

SOMEA の認知を広げる上で、商品の魅力について、顧客と池内友禪の間に認識のズレが無い把握するために、商品アンケートの質問項目をチームに分かれて検討しました。

人材を雇う側、雇われる側の両方からペルソナや雇用条件を考えることで、雇うことのコストやメリットを考えることができました。

ワーク③

広報人材のペルソナ作成と募集媒体の検討

池内友禪の経営基盤を整理した結果、「SOMEA」の認知を広めるために、広報業務を担う人材を雇用するという案が出されました。そこで、広報業務を担う人材のペルソナと、求人掲載する媒体をチームに分かれて検討しました。

どんな人材を採用したい？

性別 女性 年齢 30代
職業 現在なし 居住地 京都
(クリエイターの職務経験あり)

- ・スキル マーケティング知識、PCスキル
- ・性格 フットワークが軽い
- ・趣味 カメラ、読書、旅行

ワークシートの例
※イメージ

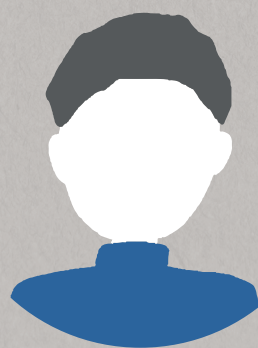


ペアワーク、グループワークを通して、新しいアイデア・考え方を知ることができました。また、自分1人では気づかなかったことについて、会話を通して知ることができ、この3回は私にとって貴重な場でした。



プログラムを終えて

これまで、一人で右往左往しながら事業について考えていましたが、このプログラムを通して頭が整理され、未来の可能性を感じれるようになりました。面白いと思ってプログラムに取り組んだら、想像以上のことが返ってきて、とても有意義な時間を過ごすことができました。皆さんに、とても感謝します。



池内友禅
池内様

物や価値を作る人がいて、それを広める人がいて、やっとうる人に届く、という流れが3回のプログラムを通して改めてしっかりと理解できました。企業説明でも「お客様の目線で考えることを大切にしている」とよく言われていますが、なぜそれが大切で必要なことなのかがワークなどを体験したことでよく理解できました。



インターン生
大学3年生



インターン生
大学3年生

講義やワークで今まで知らなかった、年齢も立場も違う人達と、色々な価値としての知識を提供し合って、一つの課題に取り組めたことは、これから生きていく上で大切にしていきたい経験になりました。そして何より知らないものを理解しようとするのがとても楽しいと感じたので、これからもそれを大切にしていきたいと思いました。

伝統工芸が大好きで、普段関わりのない分野で面白そうだという思いで気軽に参加しましたが、講義や大学生との意見交換を通じて、自分の認識の外にあった価値観や感覚があることに気付くことができ、とても刺激的な時間になりました。



インターン生
社会人